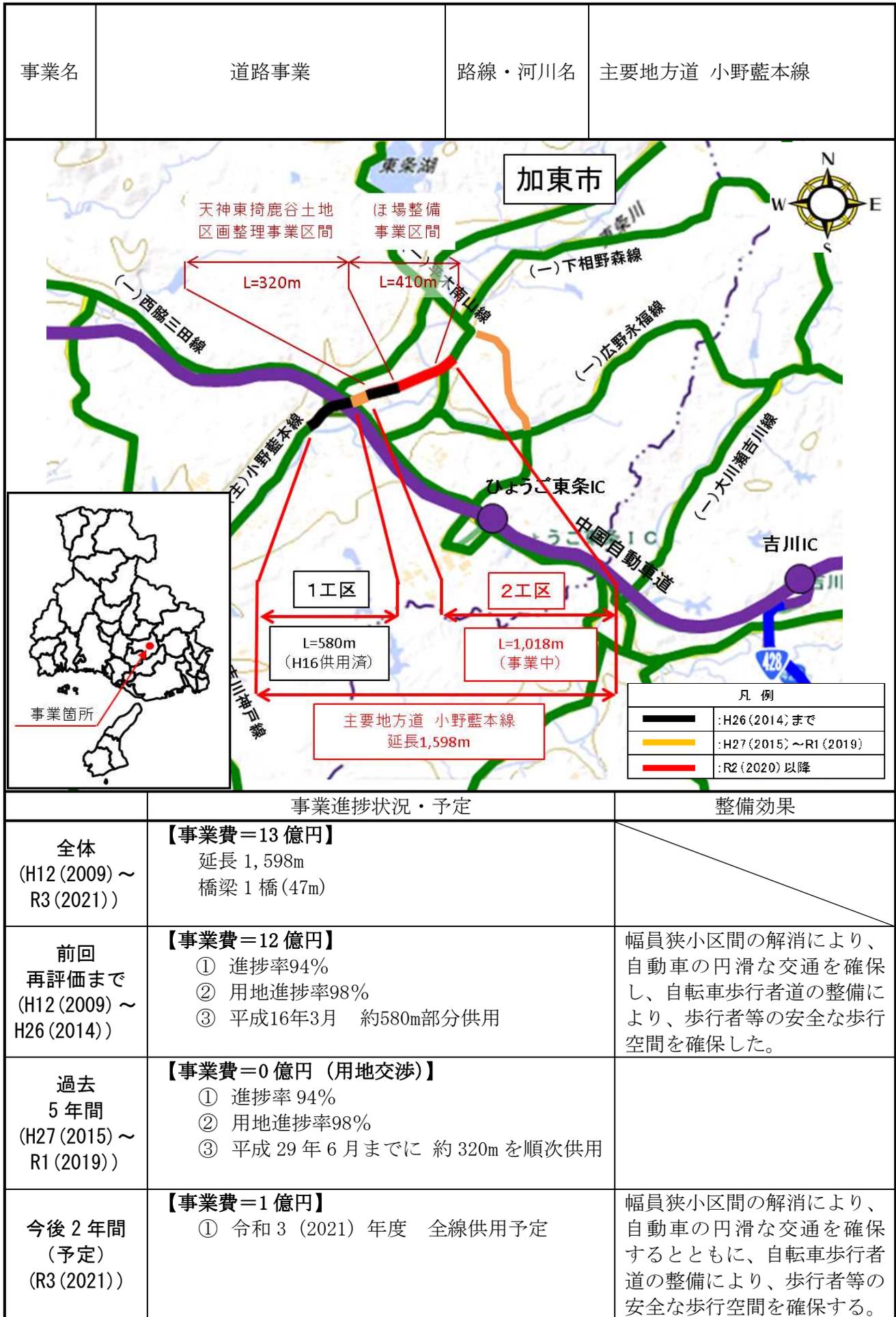


投資事業評価調書（継続：再評価〔第3回〕）

部課室名	県土整備部土木局 道路街路課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路街路課長 宇野 文章 (県道班長 長央 貴晴)	内線	4362 (4376)	
事業種目	道路事業	新規評価	—	現計画	前回評価時点	
事業名	道路改築事業 主要地方道 小野藍本線 天神バイパス	事業採択	H12	総事業費	13 億円	
		着工年度	H12	内用地補償費	6 億円	
		再評価年度	H21, 26	完成予定年度	R3(2021)	H28(2016)※
事業区間	加東市 ^{てんじん} 天神～ ^{ながさだ} 長貞	※H29 年度公共事業審査会で R1 への延伸報告済			進捗率 (内用補進捗率)	94% (98%)
					残事業費	1 億円
					94% (98%)	94% (98%)
事業の目的			事業内容 【 】 前回評価時点			
<p>・本路線は、小野市の国道 175 号を起点とし、加東市を経て、三田市藍本の国道 176 号を結ぶ幹線道路である。事業区間は、旧東条町の中心地であり、生活道路としても重要な役割を担っている。</p> <p>○幅員狭小区間の解消 現道は幅員狭小で、大型車のすれ違いが困難であることから、バイパス整備により、自動車の円滑な交通を確保する。</p> <p>○自転車・歩行者の安全性確保 現道は一部通学路利用されているものの、歩道が未整備であることから、バイパスへの通過交通の転換とバイパス部の歩道整備により、自転車・歩行者の安全な歩行空間を確保する。</p>			<p>延長：道路改築 1,598m(内 900m 供用) 構造規格：第 4 種第 3 級 幅員 計画：2 車線 両側自歩道 3.5～4.5m 車道 6.0m (全幅 14.0～16.0m) 現況：2 車線 歩道無し 車道 5.5m(全幅 5.9m) 計画交通量：4,000 台/日 (R12 年予測) 【4,200 台/日 (R12 年予測)】 現況交通量 自動車：2,408 台/12h (R1.8 実測) 【3,550 台/日 (H20.7 実測)】 [負担割合：国 55%、県 45%]</p>			
事業を取り巻く 社会経済情勢 等の変化	<p>① 本事業区間付近の天神東^{はしかだに}崎鹿谷土地区画整理事業（平成 19（2007）年度より組合施行）は、宅地分譲中であり、令和 3（2021）年度に完了する予定である。</p> <p>【前回評価時点からの事業計画・総事業費・工期の変更概要】</p> <p>① 相続問題により用地取得に長期間を要している。このため、土地収用による用地取得を目指すこととし、完了予定年度を令和 3（2021）年度に変更する。</p>					
進捗状況	<p>① 1 工区(580m)は、平成 16 年 8 月に供用済み。</p> <p>② 2 工区(1,018m)のうち、土地区画整理区間(320m)は早期の整備効果発現のため、平成 29 年 6 月までに順次供用した。ほ場整備区間及び橋梁工事区間(480m)は概成している。今後は未買収地の取得後、道路改良工事を進め、令和 3（2021）年度の供用を目指す。</p>					
評価視点	評価結果の説明					
審査会意見及び 対応方針(H26 再 評価)	【審査会意見】		【対応方針】			
	継続妥当		—			
(1) 必要性	<p>① 現道区間幅員狭小で、大型車のすれ違いが困難であることから、自動車の円滑な交通を確保する。</p> <p>② 現道は歩道が未整備であることから、バイパスへの通過交通の転換とバイパス部の歩道整備により、自転車・歩行者の安全な歩行空間を確保する。</p> <p>③ 区画整理御事業と一体となって整備することにより、まちづくりを支援し、地域の活性化を図る。</p>					
(2) 有効性 ・ 効率性 (執行環境状況)	<p>① 費用便益比 B/C=2.3(全体) (前回評価時点 B/C=3.1)、B/C=16.6(残事業)</p> <p>② 事業完了後の現道の管理引継について、加東市と協議が整っている。</p> <p>③ 用地取得は概ね完了しており、令和 2（2020）年度に用地取得完了の見込みである。</p> <p>④ 東条東小学校から、通学利用として早期供用が期待されている。</p>					
(3) 環境適合性	① 歩道部を透水性舗装にすることで、雨水の還元を図る。					
(4) 優先性	① 区画整理事業(組合施行)が令和 3（2021）年度に完了する見込みである。また、バイパス沿道には商業施設の立地が進んでおり、地域住民の生活利便性が向上することから早期整備の必要性が高まっている。					
再評価 の結果	継続	左の理由	① 供用済区間のバイパス沿道は商業施設の立地が進んでおり、事業の必要性は事業採択時より一層高まっている。また、当該区間の供用を望む声も依然として強いことから、継続して事業を実施する必要がある。			

事業進捗状況概要図（継続：再評価〔第3回〕）



道路事業 主要地方道 小野藍本線〔天神バイパス〕

目的

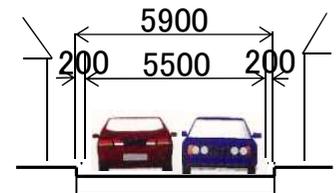
- ①幅員狭小区間の解消
- ②自転車・歩行者の安全性確保

事業概要

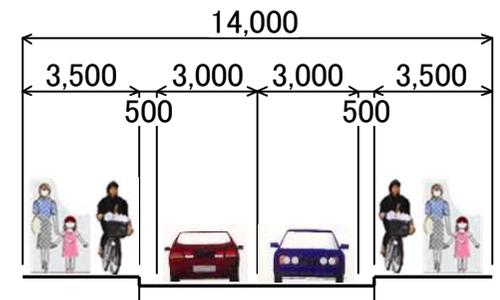
事業区間：加東市天神^{ながきた}～長貞
 総事業費：13億円
 内用地補償費：6億円
 事業期間：H12～R3
 事業概要：バイパス
 延長：1,598m(内900m供用済)
 費用便益比B/C：2.3(全体) 16.6(残事業)
 進捗率：94%
 (内用補進捗率 98%)

横断面図

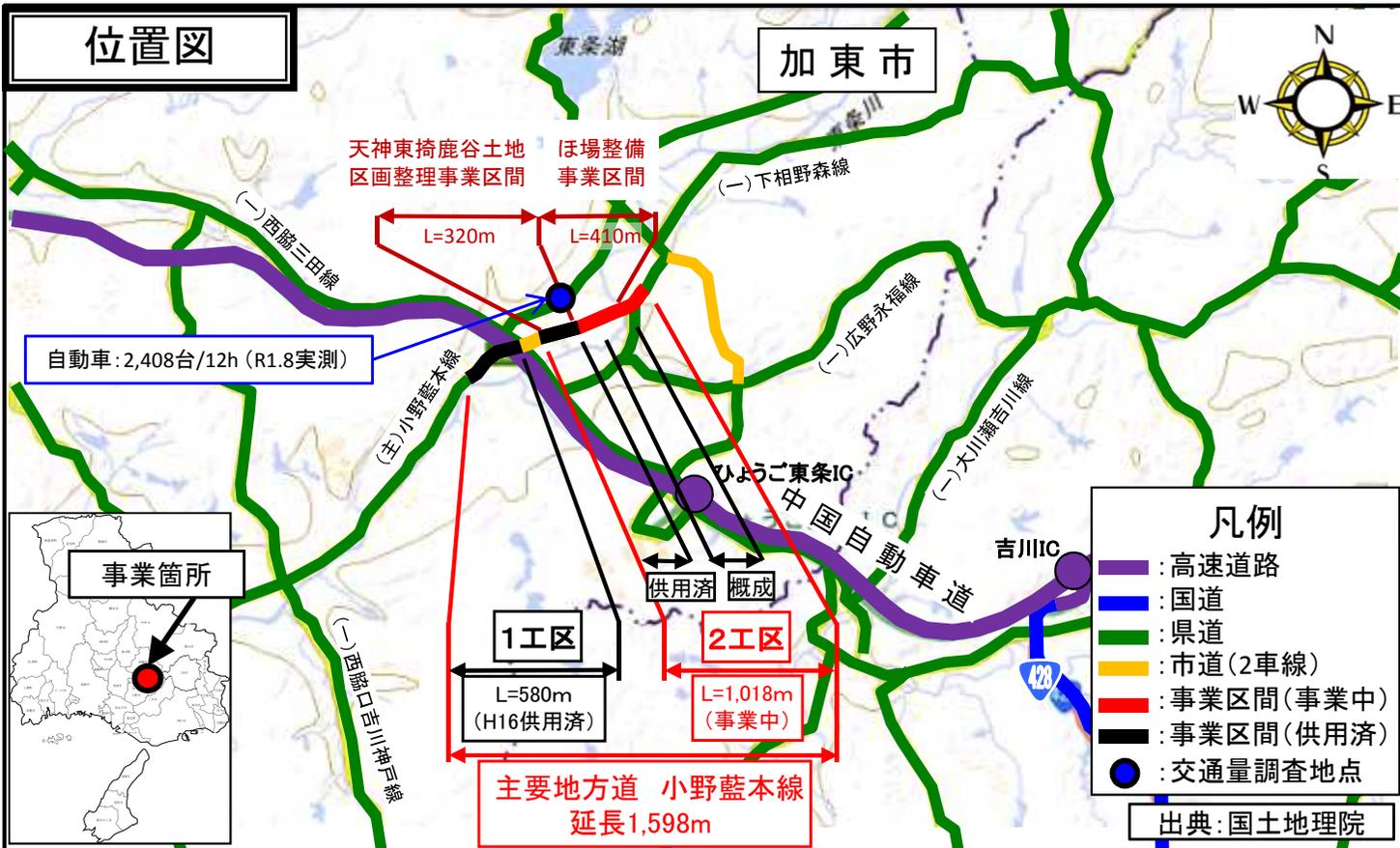
現況



計画
(ほ場整備
区間)



位置図

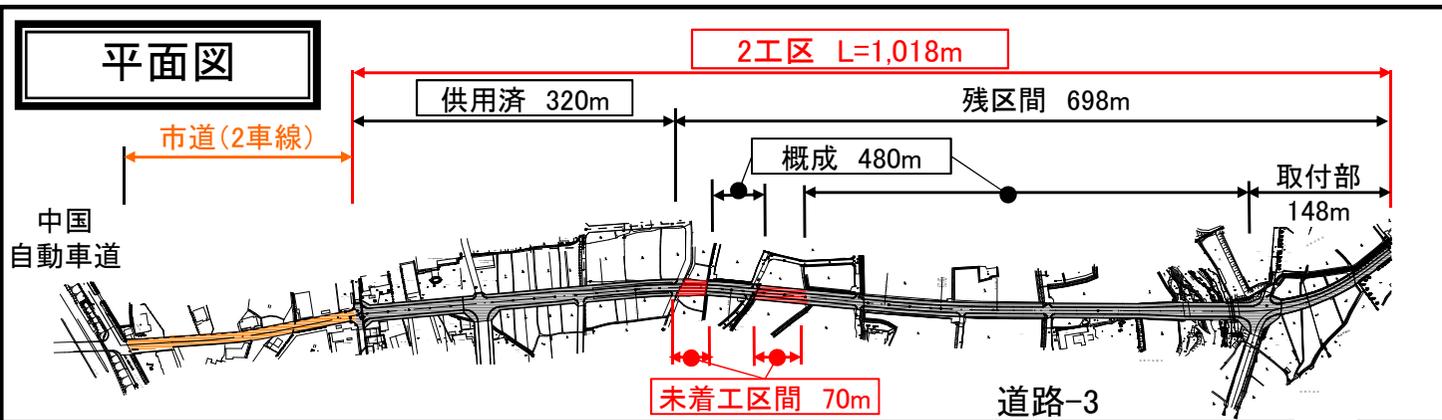


凡例

- 高速道路
- 国道
- 県道
- 市道(2車線)
- 事業区間(事業中)
- 事業区間(供用済)
- 交通量調査地点

出典：国土地理院

平面図



事業の必要性・優先性

- ①現道は幅員狭小で、大型車両の離合が困難であり、バイパスを整備することで自動車の円滑な交通を確保する。
- ②土地区画整理事業地内のバイパス沿道は商業施設等の立地が進んでおり、アクセス性向上により、地域住民の生活利便性が向上する。

現況写真

①-1幅員が狭く大型車両の離合が困難



①-2幅員が狭く大型車両の離合が困難



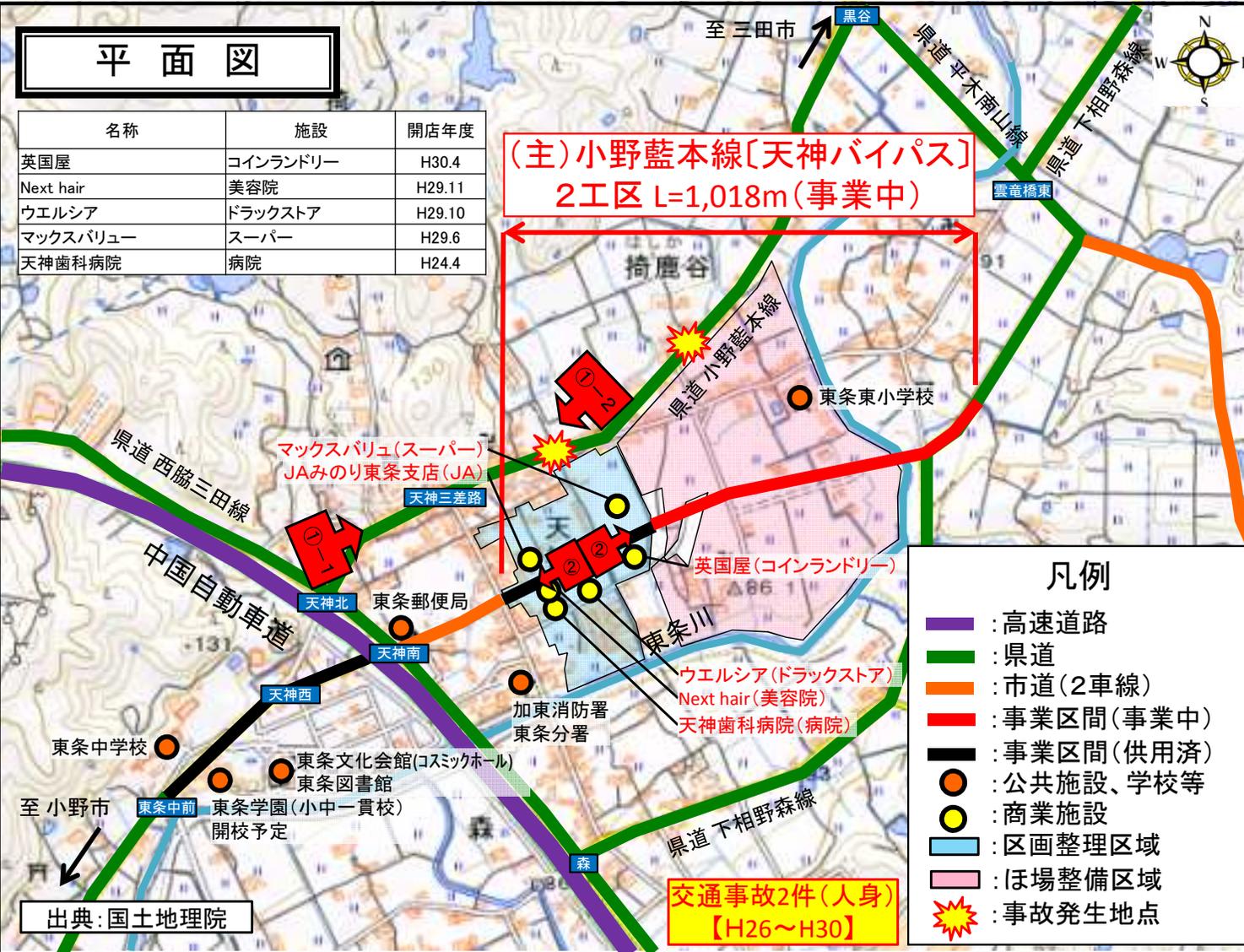
②バイパス沿道に商業施設が立地



平面図

名称	施設	開店年度
英国屋	コインランドリー	H30.4
Next hair	美容院	H29.11
ウエルシア	ドラッグストア	H29.10
マックスバリュ	スーパー	H29.6
天神歯科病院	病院	H24.4

(主)小野藍本線[天神バイパス]
2工区 L=1,018m(事業中)



凡例

- : 高速道路
- : 県道
- : 市道(2車線)
- : 事業区間(事業中)
- : 事業区間(供用済)
- : 公共施設、学校等
- : 商業施設
- : 区画整理区域
- : ほ場整備区域
- ☀ : 事故発地点

事業の必要性・優先性

③現道は一部通学路利用されているものの、歩道が未整備であることから、バイパスへの通過交通の転換とバイパス部の歩道整備により、自転車・歩行者の安全性を確保する。

平面図



道路-5

現況写真

③-1 自転車通学状況



③-2 児童通学状況(市道)



③-3 児童通学状況(県道)



事業の有効性・効率性

(1) 費用対効果

① 便益(B)の項目

評価の視点	効果項目(費用対効果の便益内容)
走行時間短縮便益	目的地までにかかる時間が短くなることによる便益
走行経費減少便益	交通の流れがスムーズになり、燃費などが向上することによる便益
交通事故減少便益	交通事故が減少することによる便益

② 費用便益比(B/C)算出根拠

事業	事業名	B(便益)		代表的な効果	C(費用)			B/C	
		便益額 (百万円)			総費用 (百万円)	事業費 (百万円)	維持管理費 (百万円)		
道路	道路事業 主要地方道 小野藍本線 〔天神バイパス〕	全体事業費	走行時間短縮便益	3,766	走行時間短縮・走行経費減少 交通事故による損失減少	2,015	1,942	73	2.3
			走行経費減少便益	689					
			交通事故減少便益	81					
			計	4,536					
		残事業費	走行時間短縮便益	1,540	走行時間短縮・走行経費減少 交通事故による損失減少	134	87	47	16.6
			走行経費減少便益	591					
			交通事故減少便益	80					
			計	2,211					

(2) 費用対効果に含まれない効果

評価の視点	効果項目	該当する事業内容等	
安全・安心の確保	緊急医療・緊急物資の円滑な輸送の確保	○	緊急輸送道路としての機能を強化
	救助・救援活動の支援	—	
	減災対策への取り組み	○	避難場所(市立東条東小学校)へのアクセシビリティ向上
	救急医療体制の支援	—	
	交通安全対策	○	自転車歩行者道の整備による歩行者・自転車の安全性確保
地域の活性化	地域間交流の促進	○	旧東条町から三田市、小野市へのアクセシビリティ向上
	中心市街地の活性化	○	旧東条町中心地の円滑な交通の確保
	地域産業の活性化	○	旧東条町内の宿泊・レジャー施設へのアクセシビリティ向上
	観光支援	○	旧東条町内の観光施設へのアクセシビリティ向上
	地域プロジェクト等支援	○	区画整理事業と一体となった道路整備
円滑な交通体系の確保	公共交通機関利用の促進 交通結節機能の向上	○	ひょうご東条IC(中国自動車道)へのアクセシビリティ向上
地域の環境改善	沿道環境の改善 景観形成	○	通過交通の転換による現道(幅員狭小)の沿道環境の改善

(3) 地域からの要望状況等

要望状況等	<p>①地元から早期供用を望む声が依然として高い。</p> <p>②東条東小学校からも通学利用の観点から、早期供用が期待されている。</p>
-------	------------------------------------------------------------------------